

日刊建設工業新聞（2022年7月25日付3面掲載）

【オリコンサルグローバル・八千代エンジ JV が設計 インドネシアの橋梁再建が起工】

## インドネシアの 橋梁再建が起工

オリコンサルグローバル  
・八千代エンジJVが設計

オリエンタルコンサルタ  
ンツグローバル・八千代エ  
ンジニヤリングJVが詳細設  
計などを手掛けた、インド  
ネシア・パル市の「パル第  
四橋再建計画」の起工式典  
が20日に現地で開催され  
た。2018年9月に発生した  
地震で崩壊した橋梁の再建  
工事。オリコンサルグロー  
バルJVは詳細設計や入札補  
助などのコンサルティン  
グサービスを担当。東急建設  
が施工する。工期は24年6  
月30日まで。



パル第四橋再建後の完成イ  
メージ（報道発表資料から）

新たに建設するパル第四  
橋は、プレストレストコン  
クリート（PC）3径間連  
続ラーメン箱桁橋を採用し  
た。延長は250m。中央  
支間長を大きく確保し、変  
化のある桁下曲線としたこ  
とでシンボリック性に富む  
デザインが特徴だ。橋梁上  
のパルコニーは地域住民の  
憩いの場となる。橋台付近  
には階段を設け、災害発生  
時に避難場所としても活用  
できるようにした。

パル第四橋周辺エリアで  
は、地震による橋梁の崩壊  
で交通分断の問題があっ  
た。この解消を目的に、日  
本の無償資金協力による再  
建が決まった。橋梁の再建  
により、地震の多いインド  
ネシアに質の高いインフラ  
を供給する。パル市内の東  
西方向の交通を確保するこ  
とで、物流の改善による経  
済復興や発展に寄与するこ  
とが期待されている。